

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名 No. 580308 埋蔵文化財保存事業		主管課名 教育行政課												
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし												
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち												
		基本事業	文化財の保存と活用												
	(1)事業の概要														
	埋蔵文化財は、土地に埋蔵された状態での現状保存が原則であるが、開発事業に伴い現状保存できない場合は、発掘調査等を実施し記録保存する。もって、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止し、併せて埋蔵文化財の詳細を報告書として後世に残す。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財の有無の確認等の申請件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>発掘調査した遺跡の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>出土遺物の数(保存用コンテナ数)</td> <td>箱</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	埋蔵文化財の有無の確認等の申請件数	件	発掘調査した遺跡の数	件	出土遺物の数(保存用コンテナ数)	箱	その指標	
	名 称	単 位													
	埋蔵文化財の有無の確認等の申請件数	件													
	発掘調査した遺跡の数	件													
出土遺物の数(保存用コンテナ数)	箱														
その指標															
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		埋蔵文化財の有無確認及び開発計画の調整(有無の確認、結果通知、開発者との協議調整)、発掘等の届出等に関する事務(開発者との協議調整、発掘の届出等の受理、審査、県への送付)、埋蔵文化財調査業務(委託契約、調査業務の監理、委託料の支払、完了確認)													
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容													
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
市内の埋蔵文化財(遺跡) 埋蔵文化財:土地に埋蔵されている文化財 開発事業に伴い保存が必要な埋蔵文化財(遺跡)			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>市内の遺跡の数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>開発事業地内の埋蔵文化財(遺跡)</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	市内の遺跡の数	箇所	開発事業地内の埋蔵文化財(遺跡)	基	その指標				
名 称	単 位														
市内の遺跡の数	箇所														
開発事業地内の埋蔵文化財(遺跡)	基														
その指標															
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
市内の遺跡を保存する。 開発事業地内の遺跡を現状保存できない場合は、発掘調査を実施し記録保存する。 現状保存:地中に埋蔵された状態で保存する。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>現状保存又は記録保存している遺跡の数(類計)</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>発掘調査し記録保存した遺跡の数(累計)</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	現状保存又は記録保存している遺跡の数(類計)	基	発掘調査し記録保存した遺跡の数(累計)	基	その指標				
名 称	単 位														
現状保存又は記録保存している遺跡の数(類計)	基														
発掘調査し記録保存した遺跡の数(累計)	基														
その指標															
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
伝統文化を保護保存し次代に継承する。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%	伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%	その指標				
名 称	単 位														
伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%														
伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%														
その指標															
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値							
(5)の活動指標		件	238	248	250	250	250	250							
		件	2	10	10	10	10	10							
		箱	10	9	10	10	10	10							
(6)の対象指標		箇所	185	185	185	185	185	185							
		基	2	2	2	2	2	2							
(7)の成果指標		基	185	185	185	185	185	185							
		基	81	81	81	81	81	81							
(8)の結果の成果指標		%	74	62	74	74	74	74							
		%	50	53	50	50	50	50							
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	06				
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	1,995	1,997	2,060	2,060	2,060	2,060							
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0	0	0	0							
	一般財源	千円	1,995	1,997	2,060	2,060	2,060	2,060							
人件費 B		千円	17,130	11,895	11,981	13,375	13,375	13,375							
正職員従事時間×人数		時間×人	868 × 4	706 × 4	706 × 4	800 × 4	800 × 4	800 × 4							
正職員以外の人件費		千円	4,050	1,426	1,512	1,512	1,512	1,512							
その他費用 C		千円	941	768	768	800	800	800							
トータルコスト A+B+C		千円	20,066	14,660	14,809	16,235	16,235	16,235							
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)	千円/ 箇所	108	79	80	88	88	88								
	千円/ 基	10,033	7,330	7,405	8,118	8,118	8,118								
	千円/														

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580308 埋蔵文化財保存事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和53年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和53年に中部電力変電所用地内の埋蔵文化財の発掘調査が行なわれ、以来、埋蔵文化財の保存に関わる事務事業として開始された。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し記録保存事業が増大している。 変化している 内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第99条) 文化財保護法、愛知県教育委員会事務処理特例条例に基づき市の役割と事務の範囲が定められている。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	開発事業に伴い発掘調査し記録保存が必要な場合は、開発事業者と協議調整して進めており、現状の水準を維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		小規模な開発事業(個人が行う専用住宅等建設など)地内の埋蔵文化財の記録保存のための諸調査の取り組みは、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止することに結びつくものであり、現状の水準を維持する。					